

猪名川の 野草教室

2004年5月30日に、国土交通省猪名川河川工事事務所主催の「猪名川の野草教室」が行われました。猪名川の野草教室は、自然が少ない都市部において、子供たちに自然の中で遊ぶ楽しさを伝え、興味を持ってもらうというプログラ

ムです。1988年の秋に、猪名川工事事務所（当時建設省）が主催する「第1回猪名川の野草教室」が開催されました。それ以来、春もしくは秋に行われ、毎年の恒例行事となっているようです。

今年の「猪名川の野草教室」では私は子供たちに植物の名前や特徴、野草を使っての遊びを教える指導員として参加させていただきました。

指導員は、大学教員や幼稚園教諭、コンサルタントなどの植物の専門家、大学生などで構成されています。

今回は当初予定していた日程が雨で延期になったためか（過去15年間、一度も雨が降ったことがなくお天気には恵まれたイベントだったのですが...）、例年よりも参加者が少なかったようです。

それでも、151名の親子が参加してくれました。

午前中は家族ごとの班に分かれ、河川敷を散策しました。

1班は15人くらいで、指導員が3~4名で構成されています。

散策しながら子供たちと一緒に、淡い紅紫色や白色のかわいい花を咲かせるニワゼキショウ摘みや幸福を運ぶ四つ葉のクローバー探し、スギナを使っての「つなぎめ当てクイズ」、ヘラオオバコの長さ比べ、ヨモギやノビルの葉っぱのにおいをかいでみたりと五感を使って遊びました。

散策中、突然、キジがバタバタと

草むらから羽ばたき、全員驚かされました。メスのキジが卵をあためていたようです。そのことに全く気づかずに私たちが巣に近づいてしまったため、それまでじっと我慢していたキジが、耐えかねて巣を離れてしまいました。キジには申し訳ないことをしましたが



みんなの作品発表！

（巣にもどってくることを祈りつつ）、おかげで卵をそっと観察することができました。

午後からは午前中の散策班とはまったく別で、野草を使っての草人形や草笛づくり、草絵、野草料理などの教室があり、子供たちに自分の興味のあるところに参加してもらいます。

私は、草笛教室でイタドリを使った筒笛とリード笛の作り方を教えてあげました。ただ、これらの笛はナイフやハサミを使って作るため、小さい子供が自分で作るのには難しいので、ついついできあがったものをわたしてしまいました。リード笛は音を鳴らすのにはコツがあるので、吹き方を教えてあげました。プーッという低いおもしろい音が出た時には嬉しいものです。

例年は、草笛教室は人気のある教室ですが、今回は参加者の年齢層が低かったということもあって、テント内は大人（講師）だけということもありました。

最後は、各教室で子供たちが作った作品を、みんなに発表します。

楽しい作品やアイデア

いっぱい作品に、いつも感心させられます。

身近な自然にふれる機会の少ない子供たちにとっては、野草を使っての遊びはとても新鮮なことで、いきいきとした表情が印象的でした。私は、普段、子供と接する機会がほとんどないのですが、この猪名川の野草教室では、自分も子供たちと一緒に楽しませてもらいました。

（大阪支社自然環境研究室・山崎香陽子）